



子育て支援ワークショップ 2班

～子育て支援・学びの拠点を考えてみた～

～今ある施設や人材の活用を考えてみた～

～子育て支援・学びの拠点を考えてみた件～

【前回の作業から】

学校帰りの居場所

学童保育以外に
学校おわりにあそびに
行ける居場所があると
いい(時間を共有できる
空間)

親のつながり

親どうしの
強い
ネットワーク

子供の安全・安心

地域の
見守りを
堂々としていた
だけさようば

子ども食堂
(誰でも来て
食べていいんだよ)

親の情報交換

子育て中の
親との交流
(話せる機会)

学校の宿題を
校内で見つけてくれる人が
いると仕事がおわって
から見る親の負担が
へるのかな

実家が
角田じゃなくても
頼れる存在
やサービス?

誰でも利用
しやすい食堂
・カフェ

帰宅前に宿題を見てくれる
場所・サービス

角田市民じゃなく
ても利用できる
サービス

【アイデア出しの中から派生した意見】

- 磯部先生に紹介していただいた
「カフェ・子どもの遊び場・子どものお迎え場所」
など「複数の機能が備わった施設」があるといいな。
⇒利用しやすさが格段に上がる！
- 高校生の送迎待ちのスペース
⇒市民センター談話室
⇒自販機あるけど、食べ物売ってない。
⇒談話室としての機能はOKだけど・・・。
- そういえば、角田中学校って旧角田女子高の跡地に
移転するんだよね？
⇒あくまで噂です！これから議論することになります。

～子育て支援・学びの拠点を考えてみた件～

そういえば・・・市民センター周辺って・・・



角田小・中・高、市民センター、児童センター周辺を「子育て支援」や「学び」の拠点として位置付け！

～子育て支援・学びの拠点を考えてみた件・まとめ①～

○いろいろな世代が行き交うエリア

○多くの世代が利用しやすい、いろいろなサービス

⇒ 遊ぶ所、食べる所、勉強できる所、体験できる所

⇒ 子ども服・グッズのリユース

⇒ おむつ交換スペース

○ダメもとで、マックやスタバの誘致に尽力する！

⇒ 人は確実に集まる。

○いろいろなサービスの提供を前提とした施設

⇒ 先進的な事例は、複合的な利用が当たり前

⇒ 既存施設の改修でも複合的な利用が大前提

- 運営は地域の皆さんによるNPOで運営。
- モデルケースが出来れば市内の他の地域にも波及するのでは。

【課題】 予算タイヘン、駐車場確保...

～今ある施設や人材の活用を考えてみた～

【前回の作業から】

どこで？①

課題

予算、人材の確保

施設 体験

Kスポの空き
スペースの活用

高齢者や父親(男性)
の力を借りる

廃校小学校の活用

誰が中心？

どこで？②

スケボーで遊ぶ
場(専用)

フットサル
場

ドローン
で遊ぶ

四駆
の場

みんなで
花火が出来る
広場

「逃走中」が
出来る公園

「遊び」を
教えてくれる
学校

地域で
好きなことを
教えてもらえる
(祖父母世代から
とか)

いろいろな大人と
関わる事が出来る
場

子どもが遊べる
いろんな施設が
あったらいいな！

- スケボー専用の場所
- フットサル場
- ドローン操縦
- みんなで花火
- 「逃走中」ができる場
- 遊びを教えてくれる場
- 地域で好きなことを教えてもらえる場
- 大人と関わる事ができる場

～今ある施設や人材の活用を考えてみた：アイデア出し～



【施設の活用】

○遊びに行くのに角田から出なければならない環境を打破したい

⇒廃校施設（体育館など？）を活用することで初期費用を抑える！

⇒Kスポの空きスペースの活用

【人材の活用】

○退職後の男性の活躍の場としてのNPO法人制度の活用

○シルバー人材より若手の人（現役世代）も登録できるような
仕組み

⇒元サラリーマンでも事業を立ち上げ、活躍できる可能性の提供

○SNSを活用して、様々な世代が気軽に登録して、サービスの提供が可能になる仕組みづくりを行うことで、市役所やシルバー人材センターへ行かなくとも、サービスを受けられる仕組みづくり

⇒ 日曜大工・DIY、昔遊びを教える場、料理教室（漬物、煮物など）